

《知》意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童
《徳》社会のルール・学校のきまりを守り、
礼儀正しく思いやりのある児童
《体》心身ともに健康で、命を大切にす児童

せんだん

珠洲市立上戸小学校
学校だより 第683号
令和4年2月22日

春は巣立ちの季節です。4月、大学生となった私もアパートでの一人暮らし生活を始めました。トラックに引っ越し荷物を積み実家を出発。両親がついてきてくれました。アパートは築数十年、6畳一間。まずは、洗濯機やテレビ、フライパンや鍋等生活に必要なものを買に行きました。あれこれやっている内に、気がつけば夕方。両親は帰ることに。一人ぽつんとなってとても寂しかったことを覚えています。しかし、何か食べなくてはなりません。当時は今のようにコンビニ等もなく、買ったばかりの調理器具を使って夕食を作ること。最初にご飯炊き。米の研ぎ方は教わっていましたが、炊くのは初めて。まあ何とかなるだろうと炊いてみたものの、蓋をあけると・・・。「ごはん」というより「お粥」でした。夕食はその「お粥」にレトルトカレーをかけて食べました。(ちなみに翌日は「めっこめし」でした。)洗濯も大苦戦。いつまでも泡が途切れません。それもそのはず。適量の10倍もの洗剤を入れていたのですから。携帯電話どころか、固定電話もなく、いちいち聞くこともできません。とにかく私の一人暮らしは???とハプニングの連続でした。一週間ほどして母から手紙がきました。母から手紙をもらったのは後にも先にもこれ一度だけです。「ご飯ちゃんと食べていますか」「洗濯ちゃんとしてますか」等々、内容は私の一人暮らしを案じたものでした。少したどたどしい文章の一文字一文字に私を心配する思いが滲んでいました。それから四十年近くたった今でも、私の身を案じて何かと声をかけてきます。「一体自分の息子が幾つになったかわかるとるん?」と返しますが、母は苦笑いしながら言います。

「ほんでも親っちゃん、幾つになっても心配ねんわいや。」

先日6年生を送る会が開かれました。コロナ禍ということで、様々な制約をせざるを得なかったのですが、そんな中でも、6年生の保護者の方々は子供達のために、何ができるのかということ懸念に考え、可能な限りの準備をして下さいました。本当に素敵な、素敵な出し物でした。保護者の方々の言葉に涙を流す子供達。親の有難さ、子を思う親の心の深さ、尊さを改めて感じました。小学校の6年間、子供達の一人一人にドラマがあったことでしょう。楽しいことばかりではなかったと思います。しかし、いつだって保護者の方々をはじめ、家族のあたたかな支えがあったことは間違いありません。そしてその支えはこれからもずっと、地域の方々、学校と共にあり続けることも間違いありません。

令和4年2月 珠洲市立上戸小学校長 道端 専次

頑張りました!!

【珠洲市少年文化賞】
6年 泉寄 光

【のと里山空港書道展】
優勝賞：2年 福田 彩蓮

【日中韓少年国際作品交流展】
特等賞：6年 鳩野芽衣 一等賞：6年 泉寄 光 二等賞：6年 梶 風沙

【北國こども俳壇】

秀作：	北風が わたしめがけて ふいてくる	2年 加須屋依里
	きょうだいで おでんのなかみ とりあいだ	2年 三上 逢海
	ストーブの 前でじゃんけん していせき	2年 福田 彩蓮
	年賀状 近くにいても 送り合う	6年 谷内口心春
佳作：	さむいあさ がんばらないと おきれない	1年 紺谷 洸斗
	ブルブルブル ふるえるくらい 冬の朝	5年 泉 宙奈
	初雪だ ふるえて歩く 登下校	6年 泉寄 光
	毛布着て マントみたいに してあそぶ	6年 鳩野 芽衣
	風切ってすべるとスキーは気持ちいい	6年 平野 雄大



皆様からご寄付いただきました書き損じハガキや未使用の切手・テレホンカードを石川県視覚障害者協会へ寄付いたしました。
福祉活動にご協力いただき有り難うございます。

味噌作り

1月18日。3・4年生が上戸公民館様のご協力を得て、珠洲特産の大浜大豆を使った味噌づくりを体験してきました。水に浸しておいた大豆を茹で、ミンサーと呼ばれる器具でペースト状にし、塩・糀を加え、たらいにたたきつけるようにして混ぜます。半年間寝かせて味噌が出来上がります。仕上がりを楽しみます。



スキー・そり遠足

2月4日、1～6年全員で柳田植物公園に行き、スキー・そり遠足を楽しみました。少し雪も散らつきましたが、お日様も顔を出し絶好のお天気になりました。1・2年生はそり。3～6年生はスキー。「ブーツがかた～い。」「うまく歩けな～い。」「うわあ～。」「疲れたー。」の声。そう言いながらも、一つ一つできるようになってくると、「できた!」「もう1回やってみる!」と満足した表情に変わっていきました。指導して下さった少年自然の家の方からは、「雪が降ると寒いし、大変なこともあるけれど、雪と上手に関わることで楽しむことができますよ。また、来年も楽しみにしててください。待っています。」という言葉いただきました。子供達にとって貴重な体験となりました。



6年生を送る会

2月17日。「6年生を送る会」がありました。1～5年生は、6年生に感謝の気持ちを劇やメッセージで伝えました。また、6年生は最上級生として、みんなの学校生活が楽しくなるようにと頑張ってきたこと、そして、それを通して自分も成長できたことへの感謝の気持ちを話しました。6年生から家族へ、家族から6年生へ、メッセージに込められた思いを聞き、心温まるひとときとなりました。



行事予定

2日(水)	クラブ
9日(水)	児童朝会(1・2年発表) 委員会
10日(木)	PTA安全指導 すこやか会合同会議(18:00～)
11日(金)	俳句教室
14日(月)	卒業式予行 すこやか会修了式
15日(火)	安全点検 通知表渡し(卒業生)
16日(水)	卒業式(10:00～)
21日(月)	春分の日
22日(火)	PTA安全指導
24日(木)	修了式 通知表渡し(在校生)

1・2年生

ふゆのたのしみ

ふゆのたのしみは、ココアをのむことです。ぎゅうにゆうをあたためて、ココアのもとを2、3ばい入れてのみます。さむいときにのんだら、あったまります。いもうともおとうとも大すきです。(吾郷 梨愛奈)

ふゆのたのしみは、ゆきあそびです。ふゆ休みに、いとこといっしょにゆきがつせんをしました。ゆき玉は、おもちゃをつかってつくりました。ぼくがかちました。つぎもかちたいです。(紺谷 洗斗)

冬の楽しみは、そりであそぶことです。さいしょはすべりにくくて、あまりスピードが出ませんでした。みんなでたくさんすべると、15分後に道がかんせいしました。スキーもしたいです。(加須屋 依里)

冬に楽しいことは、お父さんとかまくら作りをすることです。広さは5人入れるくらいです。つかうのは、小さいシャベルと大きいシャベルです。よこには、くまの雪だるまも作りました。(三上 逢海)

冬の楽しみは、雪あそびです。この前、かまくらを作りました。雪をほったら、2人入れました。中には風がこなくて、つめたいけどあたたかいかんじがしました。しずかだと思いました。(福田 彩蓮)

わたしの冬の楽しみは、お父さんとかまくらを作ることです。ねこの形を作ったので、つぎは犬の形にしたいです。広く高くしたいです。かぐも作ります。こわれないようにしたいです。(谷内口 優月)

3・4年生

味噌作りをふりかえって

みそ作りで一番すきだったところは、ミンサーをまわすところです。そのなかに大豆をいれてまぜると、めんみたいにでてきました。凧音さんと泉さんとしました。楽しかったです。(家根 大翔)

公民館に着くと、大豆のにおいがしました。しおところじをまぜて、それから大豆とまぜました。あつかったです。一番楽しかったのは、ミンサーです。パスタみたいにニョロニョロと出てきました。(泉寄 陽希)

みそ作りにいきました。まずこうじと米をまぜてそこにしおをいれて、まぜたらつぎにミンサーに大豆を入れました。めんのかたちになって出てきました。楽しかったです。(徳力 海来)

公民館でみそ作りをしました。ぼくが一番好きな作業は、青色のたるにみそをたたきつけて山を作ることです。4年生はこれでみそは終わりだけど次の3・4年生がおいしいみそを作ってほしいです。(油谷 友希)

こうじをばらばらにすることが楽しかったです。こうじをばらばらにするのは少しむずかしかったけど、ばらばらにした後は気分がよくなりました。今日は楽しい一日でした。(初鳥 凧音)

米こうじをほぐすと、パラパラしていました。そこに塩を入れました。すると手ざわりが塩とまざってざらざらになりました。ミンサーを回して大豆を出してまぜました。まぜるのが楽しかったです。

(谷内 茉莉)

ぼくの冬の楽しみは、こたつに入って温まりながら寝ることです。他にも雪の山を作ってそこから滑りたいです。冬が終わるまで、冬をまんきつします。

(家根 蒼汰)

私の冬の楽しみは、スキーです。最初は滑ることができなかったけど、練習して滑ることができるようになりました。今年はもっとうまくなりたいです。またアイスを食べることも楽しみです。暖かいこたつの中で食べるとおいしいです。

(泉 宙奈)

私の冬の楽しみは、雪に寝転ぶことです。この間も学校から帰ったら雪に寝転びました。その後に部屋に入ってこたつに足を入れると、ものすごく暖かく感じます。だから雪が大好きです。

(谷 紗梨菜)

私の冬の楽しみは、バレンタインのチョコレートを作ることです。4年生の時にクッキーをこがしてしまったという経験があります。だから今年は失敗しないように、おいしいチョコレートを作りたいです。

(泉寄 光)

私の冬の楽しみは、こたつに入っでござろござろ過ごすことです。これは私の冬の休日の朝のルーティンです。冬は寒いので、家族でこたつに入って、テレビを観ながら過ごす冬の朝は、どの季節の朝よりも気持ちがいいし、楽しいです。

(梶 風沙)



ぼくの冬の楽しみは、こたつに入って家族で UNO をすることです。これは、ぼくの家族が冬になったらする恒例の行事です。中学生になっても家族と UNO を続けたいです。

(儀谷 凱翔)

ぼくの冬の楽しみは、家の中で筋トレをすることです。家の中でできるので、毎日筋トレをしていい体をつくりたいです。この前筋トレをして、とても楽しかったのだからこれからも続けたいです。

(郡 星哉)

私の冬の楽しみは、暖かいところで過ごすことです。今年の冬もとても寒かったので、何も無い日は家で暖房をつけてずっと引きこもっています。もうすぐ春になるけど、春にもたくさん楽しみを見つけたいです。

(西田 真優)

私の冬の楽しみは、雪遊びです。理由は冬といったら雪だし、雪でいろいろなことができると楽しいからです。また、小さい頃から兄ちゃんやいとこと雪遊びをしていて、楽しかった思い出がたくさんあるからです。

(鳩野 芽衣)

ぼくの冬の楽しみは、スキーです。わけは、前にスキー場へ行き、スキーをしたら気持ちよかったからです。ゴンドラに乗り、いろいろなコースを滑ったけれど、どれも楽しかったです。

(平野 雄大)

私の冬の楽しみは、家でゴロゴロすることです。理由は、スキーなどをやるよりも暖かい家にいる方が落ち着くからです。家を暖かくして、みかんなどを食べることも楽しみの一つです。

(谷内口 心春)